

自衛官への理解促進による社会的地位向上、処遇・勤務環境の改善、
退職後支援の拡充を求める意見書

自衛官は、我が国の平和と独立を守り、国の安全を保つことを使命とし、我が国が戦後最も厳しく複雑な安全保障環境の中にあっても、国民の生命・財産と我が国の領土、領海、領空を守り抜くため、強い使命感を持って最前線で任務に当たっている。加えて、地震や豪雨、豪雪等、頻発する自然災害の現場でも、自衛官の果たす役割の重要性は高まっているほか、本県にも航空自衛隊美保基地、陸上自衛隊米子駐屯地等が配置され、県民の安心感の醸成に大いに寄与している。

こうした中、国会において、自衛官という職業を家庭の経済状況や社会的属性と一方的に結びつけて、一面的又は否定的に捉える極めて不適切な発言がなされた。当該議員は直ちに発言を撤回し謝罪しているものの、その社会的影響は看過できない。自衛官本人のみならず、その家族、退職自衛官、予備自衛官、さらには自衛官を目指す子どもたちに対する誤解を生じさせるとともに、自衛官として志願し、職務を全うする人々の名誉と尊厳を傷つけるものであり、極めて遺憾である。

今般、防衛省の所管の下に「退職自衛官・家族支援庁」の創設も検討される中、国会及び政府におかれては、自衛官に関する正しい情報発信や教育の充実を通じて、自衛官の尊厳を守り理解を促進するとともに、自衛官が自らの任務に強い誇りと責任感を持ち、国民の深い理解の下に安心して職務に専念でき、自衛官を志す方が将来への希望を持つことができる環境を整備すべきである。

また、学校教育において自衛隊の意義について、客観的かつ分かりやすく学ぶ機会を充実させることも極めて重要であり、子供たちが自衛隊への正しい理解と信頼を深めることこそが、我が国の平和と安全保障を支える社会基盤となる。

よって、次の事項について速やかに必要な措置を講じるよう強く要望する。

1 自衛官の社会的地位の向上と名誉の確立

国家と国民のために、自らの危険を顧みず任務に就く自衛官の特殊性と貢献を正當に評価し、国及び社会全体で高い敬意と感謝を示すための環境・体制を整備すること。

2 学校教育における自衛隊の役割への理解促進

自衛隊が国の防衛や国際社会の平和と安全のために果たしている役割と任務の意義・政治的立場について、子どもたちが理解を深めるとともに、その任務を担う自衛官の職務と貢献を正當に評価できるよう、教育の充実を図ること。

3 給与・手当等の処遇改善の推進

危険性や拘束性の高い勤務実態、災害派遣等における過酷な負担にふさわしい基本給（俸給）及び各種手当の抜本的な引上げ・見直しを行うこと。特に、若手・中堅隊員が将来にわたり希望を持って働き続けられるよう、更なる給与体系の改善を図ること。

4 生活・勤務環境の整備

老朽化した隊舎や駐屯地・基地内宿舍の改修・個室化、エアコンの設置等を加速させ、プライバシーと居住性の確保を図ること。また、艦艇内や遠隔地における通信環境の整備や装備品・被服等の質の向上を図り、生活・作業環境を早期に改善すること。

5 退職後の生涯設計・再就職支援の強化

若年定年制や任期満了退職という自衛官特有の制度に鑑み、退職後の生活に対する不安を払拭するため、民間企業等における自衛官の職務経験や専門性が正当に評価されるための施策を強化すること。併せて、在職中の資格取得支援や若年定年退職者給付金の更なる拡充を進めること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和8年10月13日

鳥 取 県 議 会

衆 議 院 議 長
参 議 院 議 長
内 閣 総 理 大 臣
財 務 大 臣
文 部 科 学 大 臣
防 衛 大 臣
様